

平成21年度総合型地域スポーツクラブ広報誌

第11号

情報ステーション

「きたえーる空撮」

—(財)北海道体育協会総合型クラブ育成グループ—

クラブマネジャー研修会

8月29(土)・30日(日) 於: 室蘭市文化センター

総合型クラブ設立後の円滑な運営や課題解決に向けた情報の共有化をねらいとして、先進活動地の育成アドバイザーと先進クラブのリーダーを迎え、実践的な交流を行いました。

講演I 「クラブづくりの理念」

(財) 東京都体育協会
クラブ育成アドバイザー
伊倉 晶子 氏

道内の総合型クラブがクラブ理念に対する意識が十分ではないという指摘を受け、今回伊倉氏に「クラブ作りの理念」と題してお話をいただきました。

伊倉氏の志木市におけるクラブ設立の経緯から、理念のない組織に人は集まらず【自分達の想い+地域の特性+社会的ニーズ】を統合して、共感を得られる「理念」を打ち出すことの大切さ、そして次の一步として、やりたいこととプログラムを連動させることの重要性を伺いました。最後に時代のニーズを視点に、常にクラブ運営を評価する姿勢をもつようアドバイスをいただき、理念という柱があってクラブが継続発展することを再認識しました。



講演II 「総合型クラブの現状と課題」

(財) 茨城県体育協会
クラブ育成アドバイザー
諫訪 賢一 氏

「SCしま」での経営実践をもとに、クラブマネジメントについてお話をいただきました。
①クラブの活性化を図るマネジメント、②地域を知るマネジメント、③財源確保のマネジメント、④地域の信頼を得るマネジメントに分けて経営の視点を解説され、特に「金のなる木はクラブ内で育てる」という財源捻出の話が印象的でした。地域との協働運営の重要性を訴え、正に総合型クラブは「壮大な社会実験」であると言いつ切り、同時に、N P Oの理想的な形態であるとの考えを発表されました。



実践発表I 「よりづか☆ちょいスポ俱楽部」

統括クラブマネジャー 久保田 智 氏

委託金をいかに活用するかの話題を中心に、委託金を越える予算計画を立てることやtotoの了承を得て事業を進めると必ずOKになるなどのコツを話され、運営にあたっては自らも楽しむこと、されど悩みもあり、みんなで話し合い、新たな発想で進めていくことが肝心。しかし常に原点（理念）に立ち返ることが基本であると発表されました。



クラブマネージャー受講風景

実践発表II 「Genキングしらおいクラブ」

事務局長 坂本 讓 氏

誰でもいつでも何でも気軽に楽しめる地域に密着したスポーツ文化の振興と地域の活性化を目指す、現在270名以上の会員を擁するクラブです。会員特典が用意され、教室、サークル、スクール、イベントと活動が充実しており、その分、指導者への謝金や賃金がかさみ、活動場所の確保と合わせ課題であるとの発表がありました。年会費の徴収が多岐にわたり、会員獲得に有効に作用しているようです。

テーマ別分科会

講師、実践発表者、育成アドバイザーも加わり、3つのエリアに分かれて話し合いを行いました。その中で各クラブの問題点や課題、さらには失敗談も聞かれ、悩みを共有した連帯感が生まれたようです。また、マネジメントに関しては隘路というか失敗例を多く聞いたかったという声もありましたが、収穫の多い研修会であったという評価も聞かれました。皆さんお疲れ様でした。



創設支援クラブの紹介

創設支援クラブ現地ヒアリング紹介

枝幸ＳＣ……活動母体も固まり、設立へ向け走り出す。
 上渚滑ＳＣ……手弁当、手作りで自主運営に頑張っています！
 初山別ＳＣ……会員・仲間と「楽しくやる」がモットー！
 永山忠和地区ＳＣ…堅実な取組で設立へ邁進中。旭川のモデルクラブ。
 遠軽ＳＣ……町体育組織を活用、設立へ向け最後の調整中。
 美幌ＳＣ……組織、財政面の細部調整の段階まで進行中。
 芽室ＳＣ……シュノーミングをメインに多彩な種目で活動中。
 三笠ＳＣ……活動体制が固まり、設立へ向再び始動する。
 とまこまいぬまあそび塾…生き生きとした子ども達の顔が見える成長株のクラブ。
 鹿部ＳＣ……アンケートに基づき、住民ニーズに合ったプログラムを考案中。
 いまかねＳＣ…広報活動に力点。今金らしさのあるクラブをＰＲ中。
 上ノ国ＳＣ……夏も冬も種目いっぱい。年間通した活動が特徴。
 七飯ＳＣ……全町規模ならではの悩みもありながら前向きに健闘中。
 木古内札苅ＳＣ…会員・会費の確保が課題。地域の団体の協力に感謝！

お知らせ

- 事業中間報告の提出が終わり、一段落しているところですが、事業実施報告に備え、早めの対応をお願いします。ポイントは後回しにしないこと。先を見通して準備し、効率的に処理することです。
- 事業実施報告については、「創設支援事業関係書類」に沿った、正確な経理処理をお願いします。また、消耗品費等について対象かどうか不安な場合は予算執行前に遠慮なく道体協総合型へご連絡ください。
- 設立準備委員会は十分に行ってください。特に自立支援を申請するクラブ・創設支援2年目に入るクラブは、支援内容が一部変わっていますので、共通理解を図ってください。

**Tel 011-820-1707 (総合型直通)
 Fax 011-833-0705
 E-mail : sougougata@hokkaido-sports.or.jp**

新規クラブの紹介

大空町<大空町総合型スポーツクラブ>

小規模な豊住地区で活動をしているため、住民の自主運営が非常に難しいことや将来的な活動場所の確保といった課題があるとのことです。また、市町村からの創設支援を申請しており、委託金の認可時期のズレや活用範囲の限定から、設立時期を早めたい意向のようです。また、将来的には女満別、東藻琴地区にも総合型を設置する案も検討されているようです。



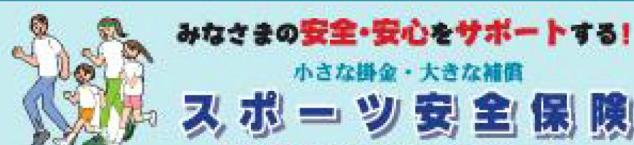
中川町<中川町総合型地域スポーツクラブ>

クラブ自体は青少年の健全育成にウェイトを置いており、少年団や児童を主体にした活動を展開しています。特に、近隣のスポーツクラブと情報交換や交流といった連携を行い、充実した活動を展開しています。2ヶ月に1回の割で準備委員会を行い、その中で徐々に年齢幅を広げていく取組を検討しているとのことです。



みなさまの安全・安心をサポートする！

小さな掛金・大きな補償



ス ポ ー ツ 安 全 保 険

傷害保険 賠償責任保険 共済見舞金

財団法人 スポーツ安全協会北海道支部
 TEL & FAX : 011(820)1709

平成21年度は多くの総合型クラブの皆さまにご加入いただきありがとうございます。当協会は、活動される皆様がご利用しやすいスポーツ安全保険を目指し、今後とも内容の改善・充実に取組みます。総合型クラブの層の充実、発展を願いつつ、スポーツ安全保険の更なるご利用をお待ちしております。(佐藤卓也事務局長)

編集後記

本年2回の広報誌を発行しましたが、皆さんの取組を十分に伝えられなかったことをお詫びいたします。次回から、可能な限りクラブの声を拾い、皆さんに共感してもらえるものにしていきたいと思いますので、どうぞ、沢山のご意見や情報を寄せください。

第2回 北海道ブロック クラブミーティング2009

11月6日(金)・7日(土) 於: 北海道立総合体育センター

<1日目>



野口 氏

クラブ運営のための実践的な内容を多彩な形態で研修しました。今回は、日体協からクラブ育成課の野口友里課長代理、中田侑歩、佐野俊輔の三氏が来道し、研修会の運営にあたりました。

1日目は、豊浦大和地区SCの山田智章事務局長による事例発表「クラブの理念やミッションの大切さ」の後、3テーマに別れて地方企画班員の進行で、各講師の事例紹介を元にグループワークが行われました。

第1グループ: テーマは「設立に向けた事業や広報等の具体的な取組」で、事例紹介は「とまこまい・ぬま・あそび塾」設立準備委員会委員長の島崎鶴松氏が行いました。

第2グループ: テーマは「会費の収支を含めた財源確保について」で、事例紹介は「遊ゆうクラブ」代表の松永厚美氏が行いました。

第3グループ: テーマは「行政支援や関係スポーツ団体との連携について」で、事例紹介は「当別総合型地域スポーツクラブ」設立準備委員会委員長の浜上尚也氏が行いました。



<2日目>

6つのクラブブースを1回30分の4サイクルで巡るブースウォークが行われ、最後に各ブースの代表から参加者に、応援メッセージが贈されました。



しおやユリビースC

風連SC

桜が丘ひぶなC

落部SC

多寄SC

おりづか☆ちよじスボC



クラブ育成支援チーム設置事業

幕別札内スポーツクラブ「福島選手とスポーツフェスタ」
9月6日(日) 於: 幕別運動公園陸上競技場

講師 福島 千里 氏 (北海道ハイテク専門学校)

陸上女子100m・200m競技日本記録保持者の福島千里選手を講師にスポーツフェスタが行われました。当 日は十勝管内の小中学生300人に実技指導とトーク交流を行いました。



福島講師が走るコツを指導した後、「100M競技の早さを実感してもらいたい」と試走すると、子どもたちから一斉に歓声が沸き、大いに盛り上がりました。

「走る姿がきれいな福島選手はかっこよかった」との声があがり、どの子にも貴重な体験となり、事業は大成功。総合型クラブの宣伝も果たせました。

北海道ネット事業



11月7日(土)

於: 北海道立総合体育センター「サブアリーナ」

ニューススポーツの2回目「キンポール」研修会が行われました。30名の参加者が、北海道キンポール連盟坂本謙理事長、久保沙也加・佐々木卓也事務局員の指導で研修に励みました。初めて体験する人もいましたがすぐに慣れ、汗を流しながらゲームを楽しんでいました。4人が戦術を駆使してポイントを上げるゲームですが、結構「はまりそう」です。



総合型地域スポーツクラブ北海道ネット事業

10月17日(土) 於：北海道立総合体育センター

活動運営研修会



全参加者57名。道ネット伊端会長から22年度の活動支援助成の変更に関する話があり、続いて白井アドバイザーからtoto助成のシステムについて説明がありました。その後、伊端会長のコーディネイト、林良彦（標準SCすっぽotto CM）・久保田智（よりづか☆ちょいスポCM）の道ネット副会長二人の発表という形で実践交流研修会が行われました。研修内容の主なものは、経理処理の効率化、会費・参加費の処理、報告を見据えた活動計画等の運営ノウハウ、グランドデザインの必要性等で実践に根ざした生の声を聞くことができ有意義な研修であったとの評価をいただきました。

リスクマネジメント研修会

クラブ関係者等58名の参加者で行われました。「法的リスクマネジメント」というテーマでRE GISTA有限責任事業組合の谷塚 哲代表から講義がありました。事例に則った具体的で説得力のある内容で、特に、スポーツトラブルへの保護者の対応変化、指導者の心得（技能等のハンディへの配慮）と安全配慮義務（予見・回避可能性）の認識等が重要との説明がなされました。

その後、留萌市消防署の中路和也課長さんと助手の伊藤知史さんによるAEDを主とした実技研修とスポーツ活動における怪我についての講義が行われ、AEDのメカニズムや重要性の認識、対応の心構えを新たにしました。



創設支援クラブ担当者会議

講 演

札幌国際大学 講師 新井 貢 先生



「総合型地域スポーツクラブと地域づくり」と題し、総合型クラブが有する生涯学習と地域コミュニケーションの活性化という本来の目的を強調された話を展

開されました。先進事例、特に失敗例と成功例を提示し、クラブが目指すべき方向性や魅力あるクラブ作りを熱く語っていました。レクリエーション協会員でもあり、途中コミュニケーションづくりのレクを導入するなどして聴衆を飽きさせない講演でした。

「スポーツを通して明るく豊かで活力のある地域づくり」を目指す総合型クラブに関わる我々の資質として①人が好き、②地域が好き、③スポーツが好き、④自分が好きを挙げていましたが、究極は「ともに楽しむ」ことに尽きるというお話で、1時間半が短く感じられました。

10月18日(日) 於：北海道立総合体育センター

研究協議（白井アドバイザーの説明）

はじめに次年度のtoto助成申請の早まり及び内容の変更について説明がありました。その後、資料を基に中間報告へ向けた確認がなされましたが、2年目のクラブが多く、理解が進んでいるせいか余り質問が出されませんでした。特に、留意して欲しいこととして、経理の内訳で記載する名称・事項は正式な名称を用いること、領収書の保管、経路・キロ数、基準額に沿った支払い金額等が挙げられました。また、7月の経理処理要項の変更・追加事項についても確認がなされました。

